

(数学 I) 学習指導案

				授業者	(省略)
学級	1 年 1 組	教室	2 2 1 教室	日時	平成 21 年 5 月 27 日 (水) 曜 第 2 限
単元	第 2 章 2 次関数			教科書	改訂版 数学 I (数研出版)
指導目標	関数を用いて、数量の変化を表現することの有 用性を認識させる。また、2 次関数のグラフの特 徴や平行移動の意味を理解させ、グラフを用いて 関数の最大値・最小値を求めることができるよう にさせる。			第 1 節 2 次関数とグラフ	
				1 関数とグラフ…………… 3 時間	
				2 2 次関数のグラフ…………… 7 時間 (本時はその 7 時間目)	
				3 2 次関数の最大と最小…………… 5 時間	
				4 2 次関数の決定…………… 2 時間	

本時の指導

主 題	グラフの平行移動・対称移動			
予習課題	教科書 P.71 ~ P.74 を予習しておく。			
目 標	1 平行移動および対称移動をさせたグラフは置き換えで求まることを理解させる。 2 練習問題を解かせ、任意の点の移動による解法を活用できるようにさせる。			
本 時 の 展 開 指 導 程 過 程	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項	評価の観点・資料等
	導 入	5	・ 前時の確認をさせる。	・ 前時の内容が定着しているか。〈知識・理解〉
	展 開	3		・ 積極的に参加できているか。〈関心・意欲・態度〉
		1 0	・ 平行移動のポイントは各点の移動に注目するところにあることを理解させる。 ・ どの 2 次関数でも使えることを理解させる。	・ 点の移動から全体の移動をイメージできたか。〈数学的な見方や考え方〉
		1 0	・ x を $x - p$ 、 y を $y - q$ で置き換えることを確認させる。	・ 言葉や記号を用いて、正しく解答ができているか。〈表現・処理〉
		5	・ 平行移動と同じ考え方であることを理解させる。	・ 点の移動から全体の移動をイメージできたか。〈数学的な見方や考え方〉
		5		・ 素早く解けたか。〈知識・理解〉
		1 0	・ 文字の入っている問題、平行移動と対称移動の融合問題を解かせる。	・ 既習事項の組合せで解けることを理解できたか。〈数学的な見方や考え方〉
整 理	2	・ 要点を整理させる。 ・ 1 次関数について考えさせる。	・ 本時の内容を理解できたか。〈知識・理解〉	
備 考	類型 (共通) 生徒数 4 0 名 (男子 2 0 名、女子 2 0 名)			

